

身体のメンテナンスを大切に～健診*4のすすめ

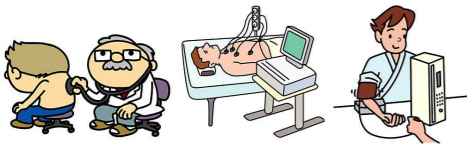
倶知安町「いきいきライフ健診」で 受けられるおもな検査

- ・特定健診（身長・体重・血圧・血液・尿・心電図など）
※国民健康保険加入者のみ対象
- ・各種検診（胃がん、肺がん、骨密度検診など）
※国保以外の健康保険加入者も可能

ひと いっすん わ いっしゃく
「人の一寸、我が一尺」ということわざがあります。人の欠点はほんの少しのことでも見落とさないけれど、自分の欠点は大きくても気がつかない、というものです。身体も同じで自分の身体の異変は気がつかない（もしかして気づいてても知らぬふり？）ことが少なくありません。

5月29日にワークショップ利用者、グループホーム入居者を対象に「身体のメンテナンスしてますか？～健診のすすめ～」という講座を開きました。2カ月に一度保健福祉をはじめ、さまざまな勉強会を開く今年度の第1回目です。

講師は倶知安町保健師と栄養士。講座の中で「健診を受けなければ、受けた人に比べて医療費が約10倍かかるというデータがある」と話していました。年に一度は身体のメンテナンスの健診を受けましょう。市町村によって名前は違いますが、倶知安町では町民を対象に「いきいきライフ健診」をおこなっています（加入している健康保険により、受けられる検査は異なります）。あなたの身体を見つめる貴重な機会、逃してはいけません。



「設立10周年記念シリーズ 法人あのととき」はお休みします

お詫びと訂正；第60号の「法人あのととき⑤」の記事中、年号に誤りがありました。下から2行目、「平成27(2013)年」は正しくは「(2015)年」です。お詫びして訂正いたします。

その50 原因①

4x²+5x-6=0の二次方程式を解けと言われて、x=3/4、2と答えるのはそんなに難しいことではない（かもしれない）。答えが必ずあるというのは、幸せなことである。そんな幸せな時代はもう過ぎ去ったに違いないと、しみじみ思う。

原因があって、結果がある。そしてその結果を避ける方法までであるということは相当運の良いことか、とても簡明なことではない限り減多にない。原因と結果を作る役割とその結果を修正する役割は同一人物であることが好ましい。そこを分業したりするからややこしいことになる。
ともに顧問（自称）

精神科医 土田正一郎の



各事業報告～5月末現在

- 障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい
- グループホーム
よろこび
- ◆法人会員 正会員20人、賛助会員 団体2 個人88人
- ◆30年度寄付金 のべ6人 33,075円
- ◆寄付物品 野菜種苗

編集後記 家族会たんぼの会が解散しました。北海道家族会団体「北家連」に電話取材したとき、団体数は20年前の半以下で各地で消滅か消滅寸前の会が多いと聞きました。会が解散しても家族が苦労を分かち合う機会・場所は今後も必要と思います。（かわさき）

正会員、賛助会員募集中！ 法人にご協力よろしくお祈いします。

通信 とともに

第61号

2018年6月8日発行
認定NPO法人とともに

住所 〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北3条西2丁目1-1
でんわ (0136) 55-5828
FAX (0136) 55-5829
Eメール info@npo-tomoni.com

ホームページ <http://www.npo-tomoni.com> ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni/>

今月の一枚



※詳しくは3ページの「フルディックウォーキング」の記事をご覧ください



春香のほろけいけい公園
（利用者Kさん撮影）
*1

なんかおかしい報酬改定・・・理事長つぶやき

今年4月障害者総合支援法が見直され、障害福祉サービス等の報酬改定がありました。「報酬」とは、私たちが行っているワークショップようていの「就労支援」事業やグループホームよろこびの「共同生活援助」事業のサービス（支援）に対して支払われる給付金のことで、事業経費の99.9%（ほぼ全部）が給付金運営です。

今回の報酬改定は、厚労省通達で「ニッポン一億総活躍プラン」において「障がい者の就労支援の推進」が掲げられ、障がい者の工賃・賃金向上、一般就労への移行の促進や就労定着の充実、サービスの質の向上を図るためとなっています。

しかし、利用者の工賃をもっと多くするためには「売上」が多くないとできません。今回から平均工賃額で報酬額がランク付けされるということは、“支援力”より“商売力”が評価対象だ、ということになります。売上額で毎年報酬単価が大きく変わってしまうのです。昨年も4人の利用者が就職し働き続けています。企業や利用者との面談など就労支援の丁寧な取り組みが実績を積み上げてきました。その就労定着実績が今年の10月から認められなくなるのです（報酬になくなるため）。サービスの質を向上するために福祉職員の処遇改善（賃金増）をなささい、と言いながら事業所への支給額が減らされ先の見通しが不安定・・・なんかおかしい。

（理事長・こばやし）

今回のおもな改定点 (ワークショップようてい分)

- ①就労移行支援の「定着支援体制加算」が廃止（10月から）
年109万8144円の減額
・・・10月以降は定着支援事業所を新設しないと定着支援の給付費が入らない
- ②就労継続支援B型給付費が、前年度利用者の作業工賃月額平均に
応じて変化する
・29年度まで…一律584単位
・30年度から…29年度の平均月額5,759円では→571単位
試算すると…
年145万1530円の減額

ワークショップだけでも…
年254万9,674円の減額

平成30年度通常総会 ～11年目の活動スタート



5月16日水曜日午後2時、わっくわく食堂にて平成30年度通常総会を開きました。平成29年度事業報告および会計決算、平成30年度事業計画(案)および活動予算(案)は承認されました。また苦情解決と虐待防止の各マニュアルを制定したことを総会で報告し配布しました。遠方の方には送付しておりませんので、正会員でご希望の方はお知らせください。

法人として盤石な経営を目指す一方、一面の理事長コラムにあるように、障害福祉サービス等の報酬が改定されたことにより、給付費が大幅に減額され法人運営への深刻な影響が予想されます。今後ともみなさまのなご一層のご協力をよろしくお願いいたします。会計決算の詳細は、当法人ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.npo-tomoni.com/actabout.html>

平成29年度会計決算	
経常収益	94,309,598円
経常費用	88,152,753円
当期正味財産増減額	6,156,845円
前期繰越正味財産額	53,079,375円
次期繰越正味財産額	59,236,220円
固定資産	101,252,166円
長期借入金	63,131,147円

ありがとう「たんぼぼの会」～解散総会

平成5(1993)年から25年間にわたり活動してきた精神障がい者の家族会「倶知安たんぼぼの会」が、5月23日に解散総会を開き、活動を終了しました。

たんぼぼの会は、平成7年にワークショップようていを立ち上げ、NPO法人とともに運営が引き継がれた後も、研修会や福祉まつりなどで協力しあってきました。会が発足した当時、精神障がい者の日中活動先や家族が悩みを打ち明ける場所はなく、家族会が行事を企画しすべてをおこなっていた時代があったといいます。

時代が進み家族会のあり方が変化したことや、会員の高齢化もあり解散を決めたそうです。初代会長で今期まで監事を務めていた佐々木三郎氏は「25年続けた会を解散するのは喜び、悲しみが半々に感じる。解散は残念だがこれからも絆を築いていきたい」とかみしめるように語りました。家族会は解散しますが、会員の思いを法人が引き継いでいきたいと思えます。みなさんお疲れさまでした。



解散総会終了後撮影した集合写真



平成5(1993)年3月26日 発会式後の懇親会
たんぼぼの会の歴史はここから始まった

福祉マップ改訂版完成 当法人も載ってます



3年前に羊蹄山ろく自立支援協議会「知ってる会?」で作成した「福祉MAPくっちゃん」がこのほど改訂版を完成させました。当法人の事業所「ワークショップようてい」と「グループホームよろこび」も前回に続いて載っています。冊子は羊蹄山ろく相談支援センターに置いてあります。またセンターのホームページでもダウンロードできますのでご利用ください。

<http://www12.plala.or.jp/sirisapo/soudan.html>

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

5月のワークショップ活動

5月8日 カフェ花壇の整備



連休明けにわっくわく花壇を整備しました。暖かい天気でのような可憐な花が咲いてきました。通りがかりのときはぜひ花壇の花々をご覧ください。

5月27日 春のノルディックウォーキング



19日に開催予定も雨天で延期、当日は晴天で暖かく、絶好のウォーキング日和でした。この日はまだ7分咲きでしたが、参加者は「花の香りがいっぱいする」と身体全体で芝ざくらを満喫していました(芝ざくらの風景は表紙をご覧ください)。

いくびょう 農業部ポット育苗 #3



今年の育苗は利用者や職員が手入れしやすいように、わっくわく駐車場にビニールハウスを設置し育てています。断熱のため床面に板を敷く工夫で順調に育っています。

講演会・研修会活動

らっぷ 倶知安WRAP「くらっぷ」開講

6月27日から当法人主催で支援者のためのWRAP講座を倶知安厚生病院こころの総合支援センターで開催します。

WRAP (Wellness Recovery Action Plan)は「元気回復行動プラン」と呼ばれ、毎日を元気に暮らすためにどう行動するかを自ら計画し、行動していく方法です。支援をする人たちが元気になることで、より良い支援ができると考えています。

開催は偶数月の第4水曜日で、参加費は1回につき300円(資料代、お菓子代)です。飲みものは各自ご持参ください。

お問い合わせは倶知安厚生病院こころの総合支援センターの黒木まで。(でんわ0136-22-1141 内線3210) 参加をお待ちしています。



グループホーム
よろこび

小樽へ買い物ツアー

5月21日、グループホーム入居者3人と「ウィングベイ小樽」に行きました。Sさんが「大きいサイズの服をみたい」と話があり、希望者を募って今回のツアーが実現しました。

今回は日常生活訓練の一環で、JRを使用しました。切符自動販売機がタッチパネル式になって初めて購入する入居者もいて、私たち職員が教えると何とか買うことができました。現地で目的だった服を買うことができたSさんのほか、本を買う方、ウィンドウショッピングをする方と、それぞれが楽しんでいたようすです。帰りは全員「疲れた」と車内で眠りについていました。入居者の要望を踏まえ、また企画していきたいと思えます。(こばやし [け])

